

NISCの対応

1. 概要

日本の情報セキュリティ関係組織等で検知した攻撃予見情報・観測/分析結果情報を、韓国側窓口へ提供。また、大会期間中・終了直後に職員を派遣し、平昌大会におけるサイバーセキュリティ対策・サイバー脅威情勢について情報収集。

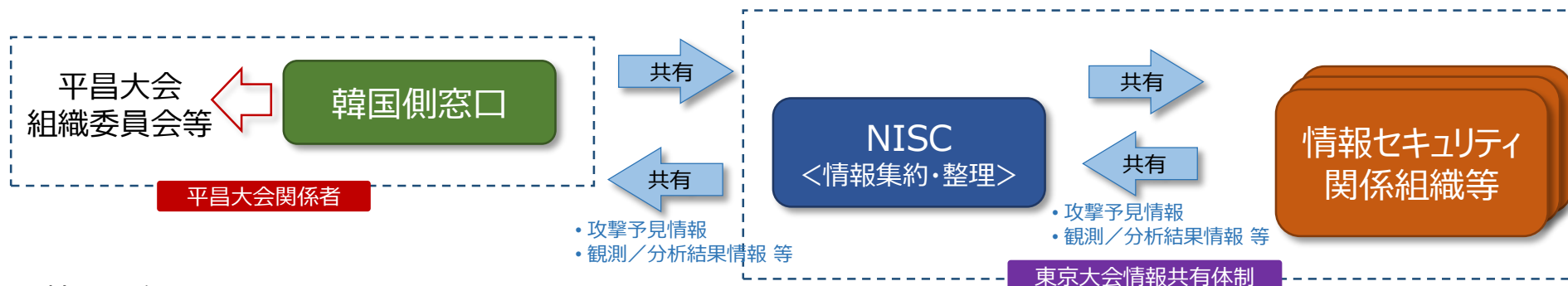
2. 実施期間

○情報共有

オリンピック期間 2/2～25 【大会期間：オリ 2/8～25（開会式2/9、閉会式2/25）】

パラリンピック期間 3/9～18 【大会期間：パラ 3/9～18（開会式3/9、閉会式3/18）】

情報セキュリティ関係機関より大会に関係する**355件の情報を集め**、韓国側窓口へ**111件提供**



○情報収集

KISA（韓国情報保護振興院）、韓国警察庁、平昌大会組織委員会、MPC（メインプレスセンター）、IBC（国際放送センター）等とのミーティングを実施

- ・大会運営に重大な影響を与えるようなサイバー攻撃は発生せず
- ・大会準備期間に約6億件、大会期間中に約550万件のサイバー攻撃が発生、開会式においてサイバー攻撃に起因して一部のサービスが利用できなくなったとの報道
 - メインプレスセンター内で一部のネットワークに接続できない不具合
 - 大会公式サイトにおいて一時的に入場チケットを印刷できない状態
 - 内部のインターネット、Wifiが使用できない事態
 - 大会が近づくにつれて、大会に関連するフィッシングメールが増加



国際放送センター



メインプレスセンター